



犬山市議会議員 玉置幸哉 活動報告

玉置ゆきや市民レター

第32号 2023年7月1日

玉置ゆきや 事務所

犬山市羽黒高橋郷 155-3

090-1094-8223

yukiya4356kusi@docomo.ne.jp

6月議会 一般質問

未就学児給食費無料について

事業目的

物価高騰に直面し、影響を特に受ける未就学児を持つ子育て世帯への経済的支援を実施する。

無料期間

令和5年9月～令和6年3月（7ヶ月間）

対象者

市内在住の乳幼児の保護者が支払う保育所等の給食費を無料とする。または弁当持参にて保育所に通っている保護者に給食費相当額を補助する。

対象・金額

乳児（0歳～2歳）	378人	8,071,000円
幼児（3歳～5歳）	1214人	45,781,400円
合計	1592人	53,852,400円

6年生と中学3年生の給食費無料化について

事業目的

進学準備が必要となる小学校6年生と中学校3年生を対象とすることで、子育て世帯の経済的な負担軽減を図ることができる。

対象・金額

小学校6年	527人	18,707千円
中学校3年	594人	21,746千円
合計	1121人	40,453千円

スケジュール

- 7月 制度の周知
- 8月 市外児童生徒等への補助金申請
- 9月 給食費無料化実施

上水道基本料金無料化事業について

事業目的

物価高騰に直面する生活者・事業者の負担軽減の支援策として水道料金を7月検針分から8ヶ月間無料とする。

無料期間

令和5年度 第3期～第6期分（8ヶ月間）

対象・金額

犬山市の水道を利用している世帯及び事業者
約29,000件（ただし官公庁を除く）

124,489千円

1件あたり

家事用基本料金8ヶ月間 4,004円

（1期1,001円×4期分）

業務用基本料金8ヶ月間 5,060円

（1期1,265円×4期分）

手続きは不要



6月議会 一般質問

出産祝い金について

質問 1

- ① 当市は令和元年から出生数が500人を割っており危機的な少子化だと考えるが犬山市独自で出産祝い金制度の導入を考えてはどうか。



無動力で歩く補助をする機器について

質問 2

- ① この機器の認識について

市内企業で名古屋工業大学佐野明人教授と共同で開発された無動力で歩く補助をする機器について市はどのような認識を持っているか。

- ② 高齢者の健康推進について

コロナにより高齢者の外出機会が減り、足腰が弱ってきている人も多いと思われるためアルクを使って外に出るきっかけをつくり高齢者の健康推進を考えてはどうか。

- ③ 市と企業のコラボについて

民間企業の製品なので宣伝は自社すべきだと思えますが、市の企画する健康に関するイベントや様々な行事とコラボしてはいいかがか。

回答 1

- ① 少子化は全国的な課題でありその背景には若い世代の経済的な不安定さなど様々な要因が関係します。国においても「出産・子育て応援給付金事業」として妊娠届出時に1人5万円の事業を当市でも行なっています。また、児童手当の見直しも検討されています。市独自の出産祝い金制度を導入している自治体に聞き取りをした所効果がでるまで5年程度要すること、出産の一時的な経済的支援ではなく継続的な負担軽減を考えます。

玉置の思い

若い世代の収入は増えず、婚姻数も年々減っており厳しい状況。加えて出産にも、出産後も様々な出費もかさむことも想像できる。安心して出産、子育てが犬山市でできるように独自施策は是非導入したい。

回答 2

- ① 無動力歩行支援機アルクは平成29年に(株)今仙電機製作所から発売されています。市は歩行と健康づくりをテーマとしてのイベントを後援したり当市のふるさと納税の返礼品として広く市民に知って頂くことは重要だと認識しています。

- ② 特定の製品を市として推奨する訳ではないがウォーキングをより楽しめ、高齢者の健康づくりのきっかけになれば市民にとっても市にとっても有益であると考えます。

- ③ 市は昨年度から「歩き方診断事業」を共同で実施し参加者からも好評を頂いている。引き続き官民一体の健康づくりを推進すると共に「第3次健康プラン21」の計画にも健康分野における企業との連携について盛り込みます。

玉置の提案

市内企業でつくられる健康にしする製品なので市民にもしっかりと周知し高齢者が家に引きこもらずアルクを使って歩く楽しみを感じられるようになるとうい。